

青垣の秋の風物詩 はだか祭り

11月3日、青垣町遠阪の熊野神社ではだか祭りが行われ、健康・長寿のご利益がある御幣を奪い合いました。福知山市や横浜市などからの参加者を含め、約50人の裸衆が集まりました。
通所介護事業所“はっぴいはうす”から12人が招待され「久しぶりに参拝できて嬉しい。来年もまた元気で見に来たい」と話しました。



熱心に祭りの様子を見つめる招待客

兵主神社例大祭 太鼓囃子高らかに

10月9日、春日地域の兵主神社の例大祭が行われました。地域ごとの太鼓みこしとご神体の金みこし、子どもみこしの計8基が多くの人の手を支えられて地域を練り歩きました。
太鼓みこしに乗った子どもたちは、太鼓をたたきながら声を張り上げ、祭囃子を奏でていました。写真提供：市民リポーター山本雅春さん



無事巡行を終えて順番に宮入りするみこし

おながもこころもまあるく満ちそ 秋の味覚フェアを開催！

10月29日・30日の2日間、丹波の森公苑で丹の里・丹波市秋の味覚フェアが開催されました。同時開催の丹波ふれあいフェスティバルも含めて、2日間で41,000人が来場しました。
丹波大納言小豆のぜんざいのふるまい、丹波栗の焼き栗や丹波黒大豆の枝豆などが販売され、多くの人が秋の味覚を堪能しました。



大粒の丹波栗に驚きながら買い求める来場者

丹波市青少年の主張大会 2016 自分の言葉で伝えたいこと

10月23日、ライフピアいちじま大ホールで、市内の小・中・高等学校、特別支援学校から選ばれた13人の児童生徒が集まり、丹波市青少年の主張大会が開催されました。
発表者は自分の言葉で、家族への感謝、夢やふるさとへの思いなどを発表しました。堂々と発表する姿に惜しみない拍手が送られました。



集まった多くの人の前で堂々と発表した13人の発表者たち

厳かに練り歩く武者行列 城下町柏原で織田まつり開催！

10月10日、柏原藩陣屋跡付近で織田まつりが開催されました。総勢100人の武者行列が厳かに城下町を練り歩き、集まった人を魅了しました。
織田家藩主役の織田家18代当主の織田信孝さんや浅井三姉妹が現れると、その華やかさに観客からは歓声が上がりました。同時開催のうまいもんフェスタの会場では、多くの観光客が丹波のうまいもんを堪能していました。



柏原藩陣屋跡を出発する武者行列

cool(クール)なイベントを考えよう 高校生のアイデアでまちづくり

10月9日、織田まつりに先駆け、柏原藩陣屋跡で「cool(クール)なイベントを考えよう」をテーマに“茶ッカソン in 柏原”が開催されました。
観光まちづくりの会が伊藤園の協力を得て実施。市内2高校と地元住民は、来年のまつりを盛り上げるアイデアを考えました。参加した高校生は「お茶を飲みながら、リラックスしてアイデアを出せた。貴重な経験になった」と話しました。



真剣な表情で出てきた意見をまとめる高校生

デマンド(予約)型乗合タクシー 利用1,000回を達成！

10月26日、商工会柏原支所で「デマンド(予約)型乗合タクシー利用1,000回達成記念式典」が開催され、辻サツ子さん(1,178回)、蘆田イツ子さん(1,081回)、足立かづゑさん(1,014回)に記念品が贈られました。(利用回数10月14日時点)
式典に参加した2人は「週2回程度、通院や買い物に利用し、とても助かっている。今後も利用したい」と話しました。



記念品を贈られた蘆田イツ子さん(写真左)と足立かづゑさん(同右)

みんなの力を合わせて 大きな絵がついに完成

10月26日、青垣地域の5年生が「世界一大きな絵」の縫い合わせ作業を行いました。これは、1m×5mの5枚の布に描いた絵をつなぎ、1枚の絵を作成するものです。完成した絵は、来年4月に行われる青垣小学校の開校式で展示します。
児童は「細かいルールを守ってみんなで力を合わせて絵を描いた。縫うのは大変だけど頑張る」と真剣な表情で作業を進めていました。



それぞれの担当する部分を一针ずつ慎重に縫い進めていく児童たち